

野木ゆかり(旧姓:西山) 1978 年卒 啓明女学院 30 回生



【思い出】

私は1975年(昭和50)4月高校に入学し1978年(昭和53)3月に卒業しました。当時は女子高でした。啓明100年の歴史で約半分の頃、在籍したことになります。

当時は南北に校舎が分かれていました。北校舎(中央区中山手通り)に高校1年と2年、南校舎(中央区下山手通り)は高校3年と中学でした。中学は各学年1クラス、高校は私の学年で11クラスありました。

私は阪神で通学していましたので、高校1年と2年は元町で下車、高校3年は三宮で下車しました。

南校舎は、「こんな所に学校が!」と、びっくりする三宮の繁華街の中にありました。生田神社の西側、現在は外資系ホテルが建っています。

そんな環境にあったせいか、風紀はとても厳しく毎朝、校門に先生が立っておられ、髪にパーマ

はかけていないか?肩まで伸びた髪はふたつに分けて結んでいるか?スカート丈のチェックもありました。下校時の寄り道は届けが必要でした。

毎朝の礼拝で讃美歌を歌い、聖書の御言葉を聞き、主の祈りを捧げることはとても新鮮でした。

この積み重ねが魂の礎になっているとは、その時は想像もできませんでした。

当時は運動場はとても狭く、体育館、プール、理科室、調理室もありませんでした。

体育祭は王子グランドで行われました。目玉の出し物は高校生全員での行進でした。

「まっさん」の愛称で呼ばれた増田先生(体育)の、厳しい指導で夏休みも登校して狭い運動場で練習をしました。

増田先生が「タッタッタ!タッタッタ!」と掛け声をかけるので、私達は行進のことを「タッタッタ」と呼んでいました。

クリスマス祝会は国際会館で行われました。全校生徒で歌うヘンデルのメサイア・ハレルヤコーラスは圧巻でした。

修学旅行の北海道へは、東京・上野から寝台車に乗り青森に行き、青函連絡船で函館に渡る時代でした。

いつも笑顔のモース斎藤院長先生は、修学旅行の時とても派手なズボンでクラス写真に入ったり、国際会館のステージにタキシードで登場しました。モース先生は「アメリカ人なんだ!」と思った瞬間でした。

2年の文化祭の時、クラスで手作りの小物を販売して、担任の松井先生(数学)にネクタイをプレゼントすることができました。クラスメートとの楽しかった、たくさん的高校時代の思い出は私の宝物です。

そして啓明で得たもうひとつの宝物は、信仰を持たれたことです。

啓明で魂に蒔かれた福音の種が成長し、私は31才にプロテスタントのクリスチャンになりました。

【いま】

私は2017年3月に難病ALS(筋萎縮側索硬化症)と診断されました。
手足・のど・舌の筋肉や呼吸に必要な筋肉がだんだんやせて力がなくなっていく進行性の病気です。現在、治療薬はありません。個人差はありますが、呼吸器をつけなければ、3年～5年で亡くなると言われています。

医師から告知された時は、奈落の底に突き落とされたような気がしました。
「神様、なぜですか？なぜ私なんですか？」と神様に何度も吐露しました。
生きているけど魂が抜けた私を、次の聖書の御言葉が闇から光の世界に救い上げてくれました。

2 弟子たちがイエスに尋ねた。「ラビ、この人が生まれつき目が見えないのは、だれが罪を犯したからですか。本人ですか。それとも、両親ですか。」3 イエスはお答えになった。「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。(ヨハネの福音書9章2節・3節)

生きて神様の御業を見せて頂きたい！
生きる希望が湧いてきました。

現在、私は手足が動きません。誤嚥防止のため気管切開一喉頭分離手術をしてるので声が出ません。口からは食べれないので胃ろうから栄養を注入してもらいます。感謝なことに現在は、自発呼吸ができています。

この文章は視線と少し動く右足で操作をして、パソコンで作成しています。
そしてまだ話せる時に録音した声をパソコンにいています。パソコンは私と外の世界を繋いでくれる大切なものです。会話は透明文字盤やパソコンでします。
多くのケアの皆さん(医師、看護師、ヘルパー、リハビリ、入浴等々)に在宅療養生活を支えてもらっています。
とても感謝しています。

なんと、ヘルパーさんに5学年下の啓明の卒業生がいます。
私が高校3年の時ヘルパーさんは中学1年で、南校舎ですれ違っていたかもしれません。当時の先生の話で盛り上がることも多々あります。親身に介護をしてくれます。
とても信頼できるヘルパーさんを神様は遣わして下さいました。

告知から5年経過しました。
今まで出来ていたことが出来なくなっていく、悔しさをいつも神様に叫びに似た祈りをしてきました。
聖書の御言葉と讃美歌は私を慰め励まし、心に平安を与えてくれました。
そして家族、友達、ケアの皆さんに支えてもらい乗り越えてきました。

告知当初は「神様、なぜ私ですか？」と思いましたが
今は「神様、ALSの私にできることはありますか？」に変えられました。
神様の御業に感謝します。
これからも神様に支えて頂き歩んでいきます。

これからの啓明学院の歩みに、主の祝福と恵みが豊かにありますようにお祈りします。